



みんなの声

まちなかリボンサロンに来られた方の声です



皆さんに教えてもらいました

手術の前は病気のことでいっぱい、手術後の下着のことまで考えていませんでした。手術の後は乳房のふくらみが減り、さらに傷に下着が当たってちくちくした痛みがありました。小さなタオルを当てて過ごしましたが、同じ病気の友人に相談すると色々なアイデアを教えてもらいました。また病院の方からも専用の下着のパンフレットもいただきました。1人で悩んでいないで、周りの人に相談するのが一番だと思います。

もっと情報が欲しかった

「乳房全摘術となるが乳首は残せること、転移がなければ同時に乳房再建術ができる」という話を先生から聞きました。無くなったふくらみが人工物や自家組織で取り戻せるという望みが乳房を失うショックを軽減してくれました。私は異物でなく自分の脂肪を使い、一生、自然に定着してくれるという理由で、保険適用の遊離皮弁術が理想的だと思い、まずは乳がん手術とティッシュエキスパンダーを入れる手術を行いました。数か月するとティッシュエキスパンダーは皮膜拘縮がおき、硬くて当たると圧迫感はありました。市販のカップ付きインナーやスポーツブラを着用することで左右のバランスの悪さは目立ちませんでした。また温泉にも1度目は人目が無い時に入りましたが、2度目からは傷跡をタオルで隠しながら普通に入浴できました。そして最初の手術から1年後、遊離皮弁術を受けましたが、移植した皮膚が入院中に壊死して乳房再建が出来ませんでした。振り返ってみると、地元で可能な病院は限られていて、もっと情報が欲しかったこと、先生だけでなく看護師さんや経験者からお話を聞いて再建に臨んだ方がいいと思いました。今後、人工物に入れ替えるか、ティッシュエキスパンダーを外すだけにするか十分に考えて、臨みたいと思っています。

相談できる場所があつたら

乳房全摘術だけとは違う不安があるので、再建に関する情報や相談できる場所等があれば良いです。手術前は病気のことでのパニックになっていて、その後の再建術まで頭が回らないと思いました。また自分が治療を受ける病院で再建術が可能かどうか、初めに説明があれば病院選びも変わってくるかもしれません。

最後は自分で決めること

健診で異常が見つかり、乳がんを宣告されました。がんの位置が悪く乳房は残せず全摘と言われ“どうして私が”と考える事で頭が一杯になり、しばらく受け入れられませんでした。そこで色々な情報を聞き、再建術の事を知りました。色々人に相談しましたが、それぞれ意見がありました。でも最後は“これは自分で決める事”と思い、腹直筋皮弁術を受けました。まだまだ自分のお乳になつていませんが温かさがあります。思った以上に身体の負担を感じる事になりましたが(これは年齢にも左右される事だと思います)今、言えることは決して後悔していないことです。現在65歳ですが、日々薬と思いながら、これからも元気で過ごしていくと思っています。がんに勝つという気持ち、先生を始め、私に力を貸していただいた皆様に感謝しています。

前向きに考えています

辛かった治療が一段落し、これから人生に何か希望の光みたいなのが欲しくて手術前に再建を思い立ちました。急な事で、自分で情報を集める間もなく手術日を迎きました。現在ティッシュエキスパンダーを挿入し、順調に膨らんでいく胸を嬉しく思いましたが、いざ再建となると、まだ子供の教育費もかかるのに自分の事にそんなにお金を遣つても良いものかと迷いが出てきました。結局諦める事に決め、先生に伝えたら「取り出す事はいつでもできるから、そのままいける所までいきましょう」と言ってもらい、とても気が楽になりました。

そんな時に保険診療の情報を得て、一番気になっていた問題が解決するかもしれないのと、いろいろあった体の違和感が少なくなってきた事もあって、また前向きに再建を考えている今現在です。

